



別府湾腎泌尿器病院 病院長

## 佐藤 文憲 氏

### 一貫した前立腺がん診療担う

一般病床26床、地域包括ケア病床34床を有し、泌尿器科をはじめ内科・婦人科ともに地域医療に取り組んでいる。

内科主体の旧病院を前身に、泌尿器科領域の低侵襲医療（身体への負担軽減に配慮した医療）に特化した病院として再出発し、まもなく4周年。腹腔鏡下手術支援ロボットを使った前立腺がんの手術は、2018年2月の開院から21年11月までに300例超を実施した。20年には

腎がんに対するロボット支援腎部分切除術（腎機能を温存した低侵襲手術）も開始し、まもなく10例目に達する。診断に

MRIと超音波による融合画像を使った針生検（がんが疑われる標的への狙撃生検）を行うなど、早期発見から治療まで、一貫してがん向き合っている。前立腺がんは食生活の欧米化に伴い増えていくがんの一つという。「採血で前立腺がんをスクリーニング（ふるい分け）

するPSA検査は、希望すれば特定健診と同時に受けられる。50歳以上の人はぜひ検討してほしい」と話す。高齢化に伴い発症しやすいがんでもあり、80〜90代の患者も来院するため、体調や希望を勘案して治療方針を決める。

尿管結石、前立腺肥大、女性の尿失禁、膀胱機能障害など、一般的な泌尿器科の疾患に苦しむ患者も多い。「訴えを丁寧に聞き、悩みを解決するために何ができるか、共に考える姿勢を大切にしています」と確たる信念を示す。内科の医師や在宅ケアに携わる医師らとも密に連携。

「地域に密着した内科医療と、がん診療を中心とした泌尿器科の診療という二つの強みを融合させていきたい。排尿に困っている地域の患者さんのケアも担っていくつもりです」と決意を新たにしている。

大分大学医学部附属病院に長く勤務し、開院と同時に院長に就いた。「順調にやってこられているのも、スタッフが支えてくれたおかげ。一丸とならなければできない医療。意思統一は大事にしています」と思いを語る。



空撮した別府湾腎泌尿器病院の全景

#### 病院DATA

- 診療科目  
泌尿器科・内科・循環器内科・糖尿病内科・婦人科  
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科(局麻)
- 診療時間  
平日／9:00～12:30、13:30～17:30  
土曜／9:00～12:30
- 休診日  
日曜、祝日、年末年始



### 別府湾腎泌尿器病院

別府市北石垣深町851番地  
TEL 0977-66-4111  
<https://bbuh.jp>

